



文化首都・京都の未来づくり

新 国際アート市場形成事業費

1.3億円規模

背景：世界アート市場規模6.8兆円のうち、日本は僅か約2,400億円（約3.6%）
京都の作家・アートが国際市場に評価される仕組みが存在しない

○ 2020年度の第1回京都国際アートフェア（仮称）開催に向けた、運営体制の構築や関連イベント等を展開

文化庁の国際文化芸術
発信拠点形成事業を活用

- ▶ 海外アート関係者にネットワークを持つディレクターを招聘し、世界のトップ層から評価されるアートフェアの運営体制づくり
- ▶ 国内外のバイヤーやデザイナーが集まる「KYOTO KOUGEI WEEK」を開催し、伝統工芸関係の新商品開発支援や商談会、工房ツアー等を実施
- ▶ 昨年度好評を博した「アーティスト・フェア京都」の開催や若手アーティストと支援者の出会いの場を提供する「京都アートラウンジ」の開催等



2020年度の「京都国際アートフェア（仮称）」に向けた盛り上がりを創出



文化首都・京都の未来づくり

新 宇治茶ブランド世界発信事業費

0.1億円規模

背景：世界遺産の登録を目指した取組の強化、世界的な和食ブームによる日本茶への国際的関心の高まり

1. 世界遺産登録の推進

アゼルバイジャンで開催される世界遺産委員会において、「宇治茶の文化的景観」のPR等の実施

2. 宇治茶の新たな需要創造・海外発信

宇治茶ドリンク新商品のプロモーションや、海外において、宇治茶の価値を伝える「国際宇治茶伝道師」の任命



拡 ICOM京都大会2019開催費

0.3億円規模

※ ICOM・・・国際博物館会議

○ 各国の文化的オピニオンリーダー約3千人に対し、歓迎イベントやエキスカーション等により府市協調で文化首都・京都の魅力を発信



文化首都・京都の未来づくり

拡 新行政棟・文化庁移転施設整備費

5.2億円規模

文化庁
移転

- ▶ 平成33年度中の文化庁の全面的な京都移転に向け、新行政棟及び文化庁移転施設に係る実施設計、埋蔵文化財調査、3号館の解体工事等を実施

拡 文化を担う人づくり事業費

0.5億円規模

文化庁との共催

- ▶ 全国トップレベルの高校生が京都に集う全国高校生伝統文化フェスティバルの開催や、小中学生等に対する文化体験等を実施

拡 地域文化活動振興事業費

0.8億円規模

- ▶ 文化を活用した地域活性化のため、各振興局単位で地域アートマネージャーを配置(山城広域振興局に新規配置)し、住民対象のワークショップや展示会等の事業を実施するほか、市町村を含む実行委員会や地域の団体による文化事業に対する助成等

北山文化環境ゾーン広場・プロムナード整備費

1.0億円規模

- ▶ 京都学・歴彩館と植物園、府立大学などの周辺施設との連携・交流を図るため、広場及びプロムナードを整備



観光総合戦略に基づく府域活性化

新 「京都観光交流圏」形成・拡大事業費

1 「文化観光」を切り口とした観光周遊を促進

文化財の活用

(1)文化財活用支援事業

0.3億円規模

- 全国でも屈指の文化財資源を有する本府の強みを更に発揮するため、文化財の「保存」と「活用」の好循環を生み出し、にぎわいを創出 ※ 文化財の保存活用大綱を策定
- ▶ 国宝等の保存修理現場の特別公開と府域のコンテンツを合わせた観光ツアーの開催
【31年度予定】東寺、清水寺、萬福寺
 - ▶ 活用モデル事業として、地域の歴史や伝統等から着想したデジタルアート展示等を実施
 - ▶ 府内各地域における社寺、祭り、史跡等の文化財を活用した取組に対する助成
 - ①文化財を活用した、地域における文化に親しむ取組(補助率1/2、上限50万円)
 - ②文化財の美装化、環境整備等(補助率1/2等、上限100万円等)

食文化の活用

(2)ガストロノミーエリア創出事業

- ▶ 地域の料理人等が学び合う場(料理LABO)の形成支援や取組状況の発信